



WWL(ワールド・ワイド・ラーニング)コンソーシアム構築支援事業とは

文部科学省が推進する事業で、各都道府県の拠点校を中心に、国内外の学校や大学、企業などが連携して、高校生のグローバル人材育成に資する先進的なカリキュラムの研究や開発を行います。茨城県では茨城県立勝田中等教育学校が初の拠点校となり、県内の12の県立中高一貫校と連携して、「茨城県を未来型ダイバーシティ県にするための教育の推進」をテーマに研究開発を行います。

茨城県WWL拠点校：勝田中等教育学校

茨城県WWL連携校：(以下「高校」省略) 日立一・太田一・水戸一・鉾田一・鹿島・土浦一・竜ヶ崎一・下館一・下妻一・水海道一
(以下「中等教育学校」省略) 並木中等・古河中等

令和7年度の取り組みをお届けします。

茨城県高校生フォーラム [令和7年10月13日(月)]

令和7年10月13日(月)、つくば国際会議場にて「茨城県WWL高校生フォーラム」が開催されました。「茨城県をダイバーシティ先進県にするためには」をテーマに、午前中はダイバーシティ研修、午後は拠点校生徒と連携校生徒によるポスターセッション、国際基督教大学の橋本直子准教授による世界における移民政策に関する講演などを通して、これから各自で何ができるのかなどを考えるきっかけになる素晴らしい機会となりました。本年度も拠点校である勝田中等生の取り組みや留学帰国者による発表、テーマに沿った英語でのパネルディスカッションなど、盛りだくさんな内容でした。



WWL

茨城県WWL高校生フォーラム 2025

World Wide Learning

令和7年 10/13 (月) 9時30分～
at つくば国際会議場

テーマ 茨城県をダイバーシティ先進県にするためには

プログラム
ダイバーシティ研修
高校生によるポスターセッション
基調講演 「世界における移民政策-日本がめざす共生社会への歩み」
講師 橋本直子准教授 (国際基督教大学准教授)
拠点校生徒による発表
パネルディスカッション (高校生、留學生、外国人)

入場
無料

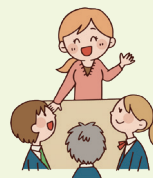
●主催：茨城県教育委員会
●お問い合わせ：茨城県WWL高校生フォーラム事務局 (株式会社WTOCP)
ibaraki@wvl-edu.com

●お申し込み：以下のURLから、任意のURLからお申込みください。
(株式会社WTOCP内) <https://wvl-edu.com>
※申込受付：9/24(水)～

生徒感想

県立勝田中等教育学校 5年次 風間 悠那

研修では日本人と外国人の課題について意見を共有し、理解を深めました。私はパネルディスカッションに参加し、多文化共生について意見を述べました。



県立並木中等教育学校

5年次 坂本 碧

本プログラムへの参加は、小さな対話の中に多様性への一歩があることを再認識し、さらにアカデミックに英語を運用する貴重な機会となりました。

県立下妻第一高等学校

2年 木村 日菜子

今回の経験を通して、基本的なプレゼン能力と英語力が向上したと実感しました。この素晴らしい経験をこれからの学習生活に活かしていきたいです。



柳井スカラーズキャラバン [令和7年6月28日(土)]

令和7年6月28日(土)に、柳井正財団の主催で、並木中等教育学校と勝田中等教育学校において海外大学進学イベント「柳井スカラーズキャラバン」が開催され、生徒、保護者をあわせて22名が参加しました。柳井奨学金を活用して、ハーバード大学やイエール大学、オックスフォード大学など英米の名だたる有名大学に進学した奨学生5名が来て下さり、大学での専攻や、実際の進学準備、奨学金などについて、丁寧かつフレンドリーに教えてくださいました。



あなたの学びは、やがて社会に還る。

公益財団法人 柳井正財団主催
柳井スカラーズキャラバン
～現役海外大生と考える進路選択とその後～
柳井スカラーズキャラバンとは、海外大学に進学した柳井正財団奨学生と一緒に自分らしい進路選択を考えるイベントです。一緒に自分の好きな学びを見つけよう！

日時：2025年6月28日(土)
【第1部】9時の分開始/茨城県立基本中等教育学校
【第2部】14時の分開始/茨城県立勝田中等教育学校
※各2部の間、校内でのライブ配信も予定しています

対象：中学生・保護者・先生
内容：①柳井正財団の活動の紹介
②財団奨学生によるパネルディスカッション
③自分の好きを見つけるワークショップ(マインドマップ)
④留学準備講座(英語検定・英語力)
⑤財団奨学生・財団職員との個別相談(希望者のみ)
※参加費無料(会場費・交通費のみ)
申込方法：<https://forms.gle/vd7J5eSp1V9KA>
またはQRコード
申込期間：6月21日(土)

柳井正財団奨学金プログラム概要(詳しくは本イベントで詳しく説明いたします)
■ 茨城県立(上掲校) 1名あたり奨学金最大 約 300万円
■ 千葉県立 1名あたり 約 105,000円 x 4年
■ 茨城大学 奨学金 約 70,000円 x 3年 x 4年
※本奨学金は返済不要の給付型奨学金です

公益財団法人 柳井正財団
<https://www.yanai-foundation.org.jp>



日出一高出身の松野さん(ハーバード大学)も来てくれました

生徒感想

●はじめは海外大学という選択肢をあまり考えていなかったのですが、奨学生みなさんが自分の夢や目標に向かって進んでいる姿を見て、私もそんな風になりたいと思いました。[勝田中等]

●今回のイベントは自分のことと将来を見つめなおす機会になりました。財団の皆さんがとても親身にやさしく会話してくれたおかげで楽しみながら自分の視野を広げることができました。[勝田中等]

茨城大学による先取り履修

茨城大学で開講されている2つのオンライン講義(国際共修ベトナム2単位、国際共修ミネソタ1単位)県内の拠点校・連携校から12名の高校生が参加しました。本講座を受講して単位を取得した生徒は、茨城大学に入学した際、取得単位として認められます。

生徒感想

県立勝田中等教育学校
5年次 紀井 晴道

アメリカの学生との文化交流や茨城大学の学生との協同作業を通して、大学レベルの深い思考力やプレゼンテーション力が身に付きました。



茨城大学 国際共修科目の先取り履修をしませんか？

国際共修科目とは、海外の大学と提携し、オンラインで授業を受けることができる科目です。授業内容は、海外の大学の授業と同等のレベルです。授業は、英語で行われます。授業の進捗は、オンラインで確認することができます。授業の終了後は、単位を取得することができます。単位は、茨城大学の授業と同様に認められます。

国際共修(オンライン)の先取り履修を希望します！

国際共修(オンライン)の先取り履修を希望します！

国際共修(オンライン)の先取り履修を希望します！

海外留学について

WWLでは拠点校・連携校の生徒を対象に国際教育交流ネットワーク機構(ISE)とアイエスエイ(ISA)と提携し留学プログラムを実施しています。

今年度は拠点校からカナダに4名の生徒を派遣しました。自分の英語力を現地で試すことができるだけでなく、母国を離れて異国の地で自分を信じ、新しい事に挑戦できる貴重な機会です。

ISE・ISAでは常時説明会を実施しています。来年度留学にチャレンジしてみたい方は、気軽に相談してみましょう。

留学を
経験した
生徒の感想



アメリカ留学 県立勝田中等教育学校
5年次 吉田 千紘

私はミズーリ州に10ヶ月留学しました。最初は新しい環境に慣れず非常に大変な時を過ごしましたが、周りの人の支えもあり、生徒会や模擬国連、吹奏楽、NSDAなど好きなことを思い切り楽しむ有意義な留学生活を送ることができました。



カナダ留学 県立勝田中等教育学校
5年次 加藤 立健

1年間のカナダ留学を通して、英語での生活力と異文化への理解を深めることができました。特に、現地のバスケットボール部ではキャプテンを務め、学業と両立しながら自立心も育ち、人として成長できた非常に貴重な経験となりました。



ニュージーランド留学 県立勝田中等教育学校
5年次 佐竹 未希

私は高校1年生の1月から約三ヶ月間、ニュージーランドへホーム留学をしました。現地の学校では、マオリ語やダンスを学び、文化への理解を深めました。また、多くの友人と交流し、ディベート部の大会にも出場し、挑戦を通して成長できました。

海外からの留学生受け入れ

WWLでは、Global Exchange Educationと連携し、世界中から留学生を受け入れています。今年度は拠点校に6名、連携校（県立下妻第一高等学校）に1名の留学生を受け入れました。留学生達は聴講生として実際にクラスに入り、日本人の生徒達と同じように学校生活を送ります。



県立勝田中等教育学校



留学生インタビュー：ローザさん

フィンランド
(留学期間・5ヶ月間)

今年度、連携校の下妻第一高等学校で受け入れたフィンランドからの留学生ローザさんに学校生活で学んだことを聞きました。

日本での生活、そして下妻第一高校での学校生活を通して、私は本当に多くのことを学びました。この経験は、他では得られない大切な学びを私に与えてくれました。授業での知識だけでなく、周りの人たちから人生についての大事なことも学びました。来日したとき、私は日本に知り合いが一人もおらず、新しい学校生活に大きな不安を感じていました。でも、学校へ行くとすぐにその不安はなくなりました。クラスメートや他の学年の生徒までが話しかけてくれ、先生方もいつも親切に助けてくださいました。皆さんの温かさとおもてなしの心に何度も支えられました。文化や言葉が違う私を、誰も「よそ者」として扱うことはありませんでした。日本語がまだ上手ではなくても、友達はいつも辛抱強く聞いてくれ、わからないことは丁寧に説明してくれました。この経験から、言葉が通じなくても相手に対して思いやりと忍耐を持つことの大切さを学びました。日本での生活を通して、私は人として大きく成長できたと感じています。フィンランドに帰ったとき、周りの人がその成長に気づいてくれたら嬉しいです。そしてその成長は、下妻第一高校の皆さんのおかげです。



県立下妻第一高等学校

お詫びと連絡

茨城県WWLコンソーシアム構築支援事業は当初令和8年度まで続く予定でしたが、文科省の事業仕分けにより、茨城県WWLは令和7年度をもって終了となりました。1年早く終了となることについてお詫び申し上げますとともに、茨城県WWLに参加してくださった生徒・保護者・教員の皆様のご協力にあらためて感謝申し上げます。

WWL終了後も、下記の関連業者によるイベントは続きますので、ぜひご参加ください。

① 海外大学体験研修（マレーシア・シンガポール）

期 日 令和8年8月2日（日）～8月10日（月）9日間

実施内容 マレーシアのテイラーズ大学・サンウェイ大学・プトラ大学の視察や講義体験、シンガポールのシンガポール国立大学・ナンヤン理工学大学・シンガポール経営大学等の学生とのセッション

費 用 569,000円

参加方法 4月下旬まで参加者募集中（希望者は以下に問い合わせてください）

問い合わせ先 株式会社アイエスエイ高崎支社 TEL:027-386-2125
(月～金 9:30～17:30 祝祭日除く) 担当：登坂 貴



② 海外留学オンライン説明会（アメリカ・カナダ）

アメリカ高校交換留学説明会（茨城高校生大使アメリカ交換留学プログラム）を実施します。合格者には約45万円の奨学金を進呈します。

期 日 ・令和8年4月23日（木）20:00～21:00 ・令和8年5月10日（日）10:00～11:00
・令和8年5月31日（日）18:00～19:00 ・令和8年6月9日（火）20:00～21:00

問い合わせ先 一般社団法人 国際交流ネットワーク機構 TEL 03-6683-7711

防災運動会 [令和7年11月30日(日)]

令和7年11月30日(日)に第2回防災運動会を開催しました生徒の発案・企画で始まった本イベントは運動会形式で防災を楽しく学ぶイベントで、さらに多文化交流の要素を取り入れ、国籍を超えたコミュニケーションの場とすることで、地域の多文化共生コミュニティの形成を目指しています。言語の壁や情報の不足により災害弱者となりやすい外国人と、同じ地域に住む日本人がともに防災について学ぶことに意義があります。茨城大学の未来共創学環の瀬尾匡輝准教授のアドバイスをいただきながら進めており、茨城大学の学生さんや地域に住む外国人の方もご協力くださっています。今年度は新たに、茨城工業高等専門学校さんにもご協力いただき、生徒では思いつかなかったテクノロジーの知識を高専の学生さんから学んで、新たな競技が生まれました。



生徒感想

県立勝田中等教育学校
5年次 尾方 心

国籍を超えて、防災を楽しく学ぶイベント「防災運動会」。人と人が繋がり、地域に新しい多文化共生コミュニティを生み出せました。

2025年度全国高校生フォーラム [令和7年12月21日(日)]

令和7年12月21日(日)、東京都渋谷区の国立オリンピック記念青少年総合センターにて、文部科学省主催の「WWLコンソーシアム構築支援事業」および「SGHネットワーク」に参加する全国の高校生が集まりました。生徒交流会ではディスカッションを通して相互理解を深め、国際的視点や多様な価値観に触れる貴重な機会となりました。ポスターセッションには全国から133チームが参加し、各校が取り組むグローバルな社会課題について英語で発表しました。茨城県からも県立勝田中等教育学校・県立鹿島高等学校・県立下妻第一高等学校が出場しました。



生徒感想

県立勝田中等教育学校
5年次 金子 凛音

私達は学校で立ち上げたチューター制度について発表をしました。普段関わることのない同世代との交流ができ、新しい視点を学べた貴重な機会となりました。

県立下妻第一高等学校
2年 青木 美陽

私は英語があまり得意ではなく、不安もありましたが、今回のフォーラムを通して大きく成長することができたと感じています。

